

**Building the TOMODACHI Generation” (略称 BTG)***Engaging U.S. and Japanese University Students in Social Problem-Solving***学生募集要項****1. プログラム概要**

2013 年度に開始したワシントン DC における次世代人材育成プログラムである BTG は、米国大使館が実施する TOMODACHI Initiative の正式プログラムに採択されており、日米研究インスティテュート<sup>(1)</sup>とワシントン DC の The Washington Center (TWC)<sup>(2)</sup>が共催しています。

日米の大学生（日本人は USJI 連携大学から合計 12 名が参加、米国からは TWC が選考した 9 名が参加）がリーダーシップ、異文化交流、社会問題に対する解決策などを学ぶことに加え、様々なセクターのリーダーとのディスカッションや参加者同士のコミュニケーションを通じて、国内外を問わず活躍できる TOMODACHI 世代のリーダーとしての能力を育むことを目的としています。

- 日米両国の市民社会の役割と機能を理解すると同時に、市民社会が果たす社会問題の解決策についてのコンセプトを理解する。
- 日米両国の学生がチームとして学習、実習を行いチームワークと協働する力を育み、長期間におよぶ東北地域復興支援や市民社会強化のために産官学のセクターを超えたイニシアチブやプロジェクトを計画する。
- チームビルディング、ディスカッション、ワークショップなどの活動を通じ、異文化理解、リーダーシップ、スピーチ、社会的責任、イノベーション、問題解決能力、批判的思考力、コミュニケーション、ネットワークなどのグローバルで活躍するために重要なスキルを修得する。

なお、本プログラムはスポンサーであるモルガン・スタンレー社から参加費用などの支援を受けて実施しています。

**2. 2017 年度募集プログラム概要（場所・期間・経費）**

(1) 場 所：米国ワシントン D. C.

(2) 期 間：2018 年 2 月 17 日（土）～3 月 5 日（月）（予定）

\*プログラム詳細はプログラム案内（英文）2017 をご参照ください。

なお、日程については若干の変更の可能性があります。

(3) 経 費：BTG プログラムで負担する経費

- 成田空港～ワシントン D. C. ダレス国際空港 往復国際航空賃\*1
- 宿泊費（米国内）
- 食費（米国内）
- 移動交通費（米国内）
- 簡易海外旅行損害保険料\*2

\*1 参加者は他の参加者全員と同一のフライトで米国に渡航し、プログラム終了後には他の参加者と同一

のフライトで日本に帰国しなければなりません。プログラム前後に米国内での旅行はできません。

\*2 参加者はこの保険とは別に本学が指定する学研災付帯海学保険及び危機管理サービスに加入が義務付けられます。

### 参加者が負担する経費

- ・日本国内の交通費・宿泊費
- ・ホテル宿泊において発生する宿泊費以外の個人的経費（電話、ミニバー、クリーニング等）
- ・超過荷物輸送料（航空機）
- ・パスポート取得費、ESTA 取得費等
- ・その他（個人の土産代等）

### 3. 応募資格（以下のすべてを満たしていること）

- (1) 正規生として本学に在籍する学部生（1・2年生を優先）。
- (2) プログラム期間に大学に在籍していること。ただし、プログラム期間中に留学・休学予定の学生は対象としない。応募・採用後にプログラム期間中の留学・休学が決定した場合は採用取り消しとなる。
- (3) 東北地域の復興に対し確固たる熱意のあること。社会的責任感のあること。
- (4) 日本国籍を保有し、渡航時に有効なパスポートを所持していること。

### 4. 応募条件

- (1) 将来、東北地方の復興に寄与するなど、プログラム終了後も東北地方とのつながりを持ち続ける意志のある学生が望ましい。
- (2) 英語でコミュニケーションができること。TOEFL iBT 75～80 相当が望ましい。
- (3) プログラム参加において、授業履修や研究指導等に支障がないこと（学事や私用に関わらず、プログラムの途中参加・離脱、行程の変更は一切認められません）。
- (4) 参加期間中の不慮の事故や疾病をカバーする海外旅行保険に必ず加入し、加入証明書を提出すること。その他、プログラム参加決定後には参加誓約書を提出すること。

### 5. 出願方法

- (1) 提出書類 ①BTG プログラム申込書（必須：提出様式1） ※WORD で提出
- ②英文履歴書（CV）（必須：書式自由 A4 サイズ） ※PDF で提出
- ③英文成績証明書（1年生以外は必須） ※PDF で提出
- ④英語能力証明書のコピー（必須） ※PDF で提出
- ⑤推薦書（任意：書式自由 A4 サイズ） ※PDF で提出

注）推薦書は任意です。特に東北震災ボランティアへの過去の活動、あるいはこれからの取組みについて、特記事項がある場合に、学生を推薦する人によって書かれるものとします。内容は学生の本プログラムへの適性と今後の東北復興への関わりについて言及し、学生を推薦することを明記したものとします。

(2) 提出先：（\*必ず a&b **両方**の方法で提出すること）:

- a. 『BTG プログラム申込書』（指定様式）をダウンロードし、①～⑤の書類を必ず指定のフォーマット（WORD/PDF）で保存しグローバル教育センター宛（overseas@cl.sophia.ac.jp）にメールで提出してください。（\*件名を「BTG プログラム応募」としてください。）
- b. 上記①～⑤をプリントアウトし示されている順に重ね、左上をホチキスで留めて1セットとして下さい。原本1セットと、そのコピー3セットの合計4セットをグローバル教育センター（2号館1階）に直接提出してください。（写真のコピー可）

(3) 受付期間： 7月4日（火）～6日（木）17時（厳守）

（開室時間：9時半～11時半、12時半～17時）

## 6. 選考方法

書類選考を行ったうえで、面接を実施し、推薦者を1名、補欠を1名選出します。

<選考の流れ>

日程	内容
7月4日（火）～6日（木）17時（厳守）	応募書類受付
7月11日（火）	書類選考合否結果（合格者のみにメール通知）
7月12日（水）<予定>	面接
7月13日（木）	面接合否結果（全員にメール通知）

※赤字部分の日程を6/26に変更しました

## 7. 選考結果の通知

本学からの推薦者について、日米研究インスティテュート（USJI）で最終選考を行います。最終選考結果は、本学から学生本人へご連絡します。なお、採用者については、TWC がスカイプにより面接を行う予定です。TWC と直接調整の上必ず参加し、アドバイスを受けた場合はそれにしたがってください。

## 8. 個人情報の取り扱い

提出書類に記載された情報は、全て本学事務局を通じて、USJI および TWC に提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は厳重に管理の上、USJI の運営活動目的以外には使用致しません。

## 9. 問い合わせ先

グローバル教育センター（2号館1階）

メールアドレス：overseas@cl.sophia.ac.jp

以 上

(1) **The Washington Center for Internships and Academic Seminars(TWC)**とは、1975年に設立された米国 NPO 団体で、米国をはじめとする世界の数百の大学の学生に、ワシントン DC で学習するためのチャレンジングな機会を提供しています。TWC のプログラムには毎年米国及び 45 ヶ国以上から 1,500 人以上が参加しており、これまでに計 50,000 人以上の参加者を輩出しています。TWC での経験を仕事のスキル向上や専門的かつ個人的なコネクションの形成、将来の目標設定等につなげることで、参加者の多くが世界のあらゆる分野においてリーダーシップを発揮し活躍しています。

URL: <http://www.twc.edu/>

(2) **日米研究インスティテュート(USJI)**とは、2009年4月、ワシントン D.C.に設立した米国 NPO 団体で、政策提言型の研究活動の実施、セミナーやシンポジウムでの情報発信、幅広いネットワーク形成、人材育成等を主な活動内容とし、米国における日本のプレゼンスを向上させることを目的としています。連携大学として、九州大学、京都大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、同志社大学、立命館大学、早稲田大学の9大学が運営に当たっています。

URL: <http://www.us-jpri.org/>